

自死遺族当事者の声が反映されていない自死の対策について

2024/06/18 レジューメ

一社) 全国自死遺族連絡会

田中幸子

自殺対策基本法と自殺総合対策大綱ができてもうすぐ20年、自死遺族の自助グループが社会活動を実施してから来年で20年、しかし現在も自死の対策に当事者の声が反映されないままです。障がい者支援対策に当事者の声が反映されているように、自死の対策にも当事者の声を反映させてもらいたい。

今までの自死対策は、普通に生きている人を追い込んでいる要因の是正をすることなく、追い込まれたら、相談してくださいという対策が中心です。具体的要因の対策は大綱に盛り込まれていますが、実施はされていません。

地方自治体が本気で取り組めば必ず地元の自死は減ります。

- 1) 児童生徒の自死はゼロにできる（しなければならぬ）
- 2) 精神薬を飲んで自死に至っている人が約6割であるという問題
- 3) 過労自死は過労死と違い多くはパワハラがある
- 4) 現在の自死の「原因・動機別」の問題点
- 5) 自死遺族の自助グループを千葉県内で立ち上げたい
- 6) 教育の改革が自死の対策には必要
- 7) その他